

【高等学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀県立太良高等学校			
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 研修会や講演会等を通して、生徒の特性に対する教職員の理解を深めることができた。今後も特別支援教育の専門性向上に努めていきたい。 いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に努めることにより、安全安心な学校生活の確保に取り組むことができた。 学校運営協議会も2年目を迎え、委員の構成等の見直しを進めた結果、活発な意見交換がなされ、先駆的な取り組みを行うことができ、より充実した一年となった。 体験学習などこれまでの地域とのつながりを継続しながら、唯一無二の誇り高き学校づくりに取り組むことができた。 太良町文化祭やSAGAコラボレーションスクール成果発表会など、学校外への広報活動を積極的に進めることができた。 			
2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育を通して、他者を思いやり、多様性を認め合うことのできる豊かな心を育み、すべての生徒が安心して学べる学校の実現を目指す。 ・太良町との協働的な学びや体験活動を通して、主体的に関わり、共に生きていく心を育て、地域社会に貢献できる人材を育成する。 			
3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー 1 強みを伸ばし、自立したいと強く願っている生徒 2 地域に積極的に関わりたいと思っている生徒 3 社会に貢献できるようになりたい生徒	カリキュラム・ポリシー 1 地域と連携・協働し、創造する力を育てる教育課程を設定します。 2 様々な体験活動を通し、主体的に行動する力を育てる教育課程を設定します。 3 他者を認め、自己を知るために、教育活動の中で、互いに学び合う場を設定します。	グラデュエーション・ポリシー 1 答えのない問題に向き合い、新たな価値を生み出す創造力を育成します。 2 自分で考え、主体的に行動する、責任ある行動力を育成します。 3 他者を尊重し、対立を克服する調整力を育成します。	4 本年度の重点目標 1 真の学力（自分で考え行動し、責任を持つ）を育成する。 2 生徒の主体性を高め創造力を育成する教育活動の実践 3 地域と協働した教育活動の活性化

5 重点取組内容・成果指標				最終評価				主な担当者	
(1) 共通評価項目				最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標（数値目標）	具体的取組		達成度（評価）	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	○生徒個々人の能力や特性に応じたきめ細やかな指導の充実	○授業研究週間の年間2回以上の実施 ○ICT機器等を活用した授業を心掛けた教員90% ○1年生の授業を中心に、AI副教材「すらら」を活用した「学び直しの時間」を取り入れた授業を実践する。 ○授業評価アンケートの中で「授業内容が分かった・理解できた」と回答する生徒が80%以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導、習熟度別指導、チームティーチング、リメディアル教育を通し、授業改善を推進する。 ・プリント教材の精選や、ICT機器の効果的な活用を進め、生徒の学習への動機づけを図る。 ・生徒の学力は様々なため、AI副教材「すらら」を活用することで生徒1人ひとりの学力にあった学習を授業の中や、朝HRの時間などを活用し、学習に取り組む習慣を身に付けさせる。 ・授業プリントの精査を行い、全員が分かる、できる授業を行う。 ・授業のまとめとして振り返りアンケートを実施し、理解の定着度を確認する。生徒がつまづいた箇所を具体的に把握し、次時の授業に役立てる。 						教務主任 進路指導主事 各教科主任
	○多様な評価方法に対応できる指導方法の研究実践	○多様な学び（UDL）の研究に取り組んだと回答した教員90% ○生徒が「授業が分かり易い」と回答した割合が85%	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的、対話的で深い学び」の実現のための教材開発・授業実践を推進する。 ・「できる授業」を推進し、相互研修のための授業研究会を年間2回以上実施する。 						教務主任 企画研修部主任（できる授業担当者） ICT活用推進リーダー 進路指導主事
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳教育推進教師を中心とする道徳教育推進のための職員研修会1回以上実施 ○Q-U等を活用した生徒面談1回以上実施	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重のための講演会を実施する。 ・「情報」やHR活動を活用した情報セキュリティ、情報モラル教育を実施する。 ・客観的な検査指標を利用した生徒理解を推進する。 ・月1回以上の生徒支援委員会を通した生徒理解・特性理解や支援を推進する。 ・SCの活用を通じて、生徒の支援体制の充実を図る。 						道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者 「情報」担当者 生徒支援部副主任 各学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○佐賀県いじめ防止基本方針の理解及び組織的な対応の実践が「よくできている」と回答した教職員90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートを年2回以上実施する。 ・いじめ防止に関する保護者への啓蒙活動を充実させる。 ・いじめ防止に関する職員研修会を実施する。 ・生徒の様子に気を配り、生徒の話を聞く中で、早期発見、早期対応に努める。 						生徒支援部主任 生徒支援部副主任 各学年主任
	◎★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	○「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒80% ○体験学習やボランティア活動を通して、「地域の方とコミュニケーションをとることができたと感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の郷土学習資料や「佐賀語り」等を活用した授業に取り組む。 ・郷土の人材を活用した講演会・体験授業を実施する。 ・地域の人々と関わる体験学習やボランティア活動の実践 						教務主任 企画研修部主任（さがを誇りに思う教育の推進講演会担当） 生徒会担当者 各学年主任
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	●規則正しい生活習慣（起床、就寝等の時間）を身につけ、十分な睡眠時間の確保65%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回の健康調査を通し、自己の体調管理を把握させる。 ・講師を招き、健康教育を充実させる。 ・保健日より集会等の講話を通じて、望ましい生活習慣の啓蒙を図る。 						保健主事 養護教諭 食育推進担当者
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」生徒70%以上 ●朝食をとって登校する生徒70%以上 ●食育の講演会を1回以上する。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食アンケートや外部講師を招き、健康教育を充実させる。 ・食に関する意識調査を実施する。 						保健主事 養護教諭 食育推進担当者
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○年次休暇を年間15日以上取得する。 ○実効性のある月曜日、金曜日を定時退勤推進日とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日を設定する。（毎週月曜・金曜） ・学校閉庁日を設定する。（8月9日～16日） ・部活動休養日を設定する。 						管理職
●特別支援教育の充実	○学習面や生活面で様々な困り感を抱える生徒へのきめ細やかな支援や相談の充実	○学習面や生活面での支援を受けることで困り感が軽減されたと回答した生徒の割合が70%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業におけるUDLに基づいた教育的配慮による教育課程 ・特別教育支援員による通常の学級での支援を必要とする生徒に対する補助的な支援 						保健主事 生徒支援部副主任
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標（数値目標）	具体的取組		達成度（評価）	実施結果	評価		意見や提言
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★実践的・体験的な活動の充実と県内外への情報発信	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合を85%以上、教職員の割合85%以上 ★県外からの入学者数8人以上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・企業等と協働した学校運営を行う。 ・魅力ある教育プログラムを実践する。 ・生徒による校内委員会を立ち上げ、生徒が自分たちで考え、様々な取り組みをすることで、高校魅力化の取組を推進する。 ・SNS等を活用し、学校の魅力を積極的に発信する。 						
○広報活動の充実	○魅力的な情報発信の継続 ○中学校、保護者、地域社会から信頼を得るための取組の推進	○学校通信「HOT通信」の月2回以上の発行 ○学校説明会、体験入学、オープンキャンパス参加者へのアンケート調査結果による満足度80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・掲載内容を精選し、充実した内容で学校の魅力をPRできる学校通信を発行する。 ・生徒広報委員会を組織し、学校の魅力を積極的に発信する。 						企画研修部主任 主幹教諭
○通級指導の実践	○自立活動の理解と実践 ○計画的な情報発信の実践	○自立活動の基礎知識に関する周知率90%以上 ○自立活動選択者の授業満足度90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回以上の通級指導委員会を通し、生徒に関する情報を共有する。 ・自立活動に関する教職員研修会を実施する。 						通級指導（自立活動）担当者
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり									
6 総合評価・次年度への展望									